



令和4年度 湖南省防災士連絡会 活動内容報告



# 警報発令時に とった行動

防

災

岩根西区 防災士 南重利

令和5年1月21日



1. はじめに --P3
2. 自主防災立上げの背景 --P4,5
3. 防災計画作成の流れ --P6
4. 防災計画制定と区民への説明 --P7
5. 岩根西区の特性 --P8~13
6. 防災訓練 実施事例の紹介 --P14~18
7. **高齢者等避難(レベル3)以上 発令時の行動** --P19~23
8. まとめ --P24,25
- 終わり --P26



このような流れで報告します。

# 1. はじめに



## 岩根西区の紹介

- ・世帯 : 170 世帯
- ・人口 : 552 人
- ・防災士 : 9 人



岩根西区 公民館

善水寺



岩根まちづくりセンター

湖南省の東部にあり、近くには善水寺、  
そして岩根まちづくりセンターがある

## 2-1.背景 ①



### 2020年\_自主防災立上げに至る背景 ---気づき

・ようこそ晴れの国、岡山へ！

災害の少ない県だったが台風で記録的豪雨。大きな災害をもたらした。

・企業立地県、熊本へ！

台風はあるけど..... まさかの大地震が発生した。

⇒ 油断！！だった。

⇒ まさかが起こる と思うことの教訓を得た。

「自分の命は自分で守る」そのためには、滋賀は、また自分の家は大丈夫という根拠のない自信にとらわれず、**その場その場で正しい判断ができるように啓発活動と繰り返しの訓練が必要と考えました。**

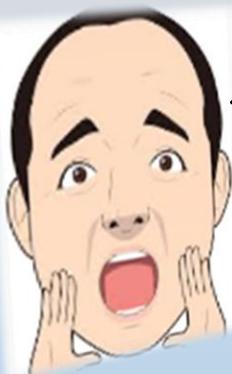
また、南海トラフ地震などの広域災害が起これば、どこもが被災地になり、外からの応援は望めない。**地域の担い手を増やして、地盤を強める必要があると気づきました。**



# 2020年\_自主防災立上げに至る背景 --- 区長のやる気

湖南省より、地域防災力の強化及び市民の防災意識の向上を図ることの指導もある中

区長



災害に強い地域づくり！  
先ず防災計画をつくろう！

副区長



区会計



防災士



やるぞ！！

がんばろう！！



防災計画作成にあたり混乱 → **必要作業を表化** → 作成作業

何からやるのか？

防災計画って何？

どんな項目があるの？

どんな内容の？

防災計画制定準備作業

**防災計画制定に必要な作業を表化**

1. 体制図  
① 地震用  
② 風水害・土砂災害用  
防災組織図と役割…済 (7月16日確認済)
2. 要支援者リスト  
各組の再確認後支援者リスト一覧修正… 済
3. 岩根西区区民名簿  
各組の再確認後組別名簿修正… 済  
2部作製 各組用
4. 一時集合場所入り住宅地図と名簿  
住宅地図最新版完成により明記可

防災組織と役割

要支援者リスト

区民の名簿

住宅地図と一時集合場所

# 4. 防災計画制定と区民への説明会



## 同年2020年9月. 岩根西区防災計画 12月. 説明会

説明会の様子



### 岩根西区防災計画

(令和2年9月1日制定)

#### 1. 目的

この計画は、岩根西区内における災害予防、災害応急対策及び災害復旧により、区民の生命、身体及び財産を災害から保護することを目的とする。

#### 2. 計画の基本方針

この計画は、岩根西区の防災に関し「自助・共助」を中心とした区民の自主防災活動への参加と自主防災組織の充実を図り、防災関係機関と相互協力を基本とする。

#### 3. 自主防災組織と役割

##### (1) 自主防災組織

岩根西区自主防災組織図による (別紙 1 岩根西区自主防災組織図)

##### (2) 役割

① 自主防災構成図による (別紙 2 自主防災構成図) 参照

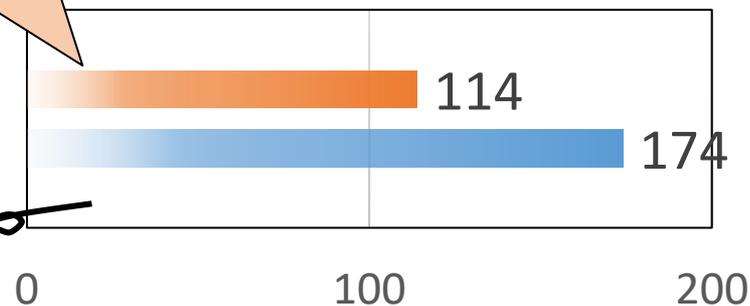
##### ② 主な役割

ア、平常時

- ・全体調整、要配慮者への支援
- ・防災計画の策定及び実施
- ・区内の安全点検

コロナ禍  
66%

### 説明会出席世帯



また防災計画は  
全世帯に配布

## 5-1. 岩根西区の特性①



### 防災訓練(活動)紹介の前に 岩根西区 特性の説明

南側には田園が広がる地域で、そこには思川が流れ、向こうには野洲川がある。そして裏山(北側)に岩根山があり、いくつもの沢(谷)がある。



## 5-2. 岩根西区の特性② --防災計画添付資料



### 浸水洪水\_\_ハザードマップ

滋賀県防災情報マップ参照

県の防災マップを参照し、1時間の雨量110ミリを想定した時の浸水範囲とその深さ、岩根西区用を作成しています。岩根西公民館 岩根まちづくりセンターまた岩根こども園は浸水しないところです。

集中豪雨



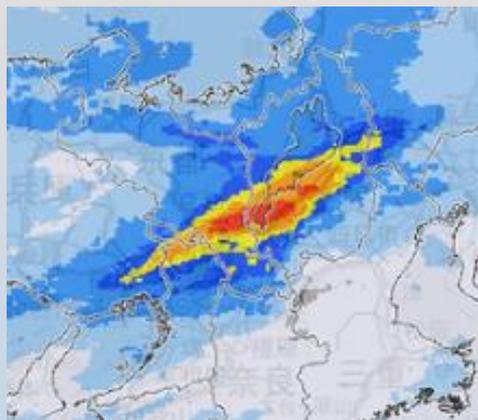
因みに2020年に熊本で110ミリ、岐阜で120ミリ降っている。この時に線状降水帯は平地でも起こると言われ、よそ事ではないことを感じた。



## 自宅敷地の浸水で “ぞっと” した事例

昨年7月19日 11:39大雨警報発表、石部と菩提寺にレベル3 避難情報が出た。  
線状降水帯が発生。

〔 湖南省西庁舎 横の側溝があふれ道路、駐車場が浸水 〕



強さ80ミリ/hの  
雨が30分続くと  
こうなる！  
1時間も降っていたら  
と思うと.....ぞっとした。

〔 自宅の敷地 〕

11:44

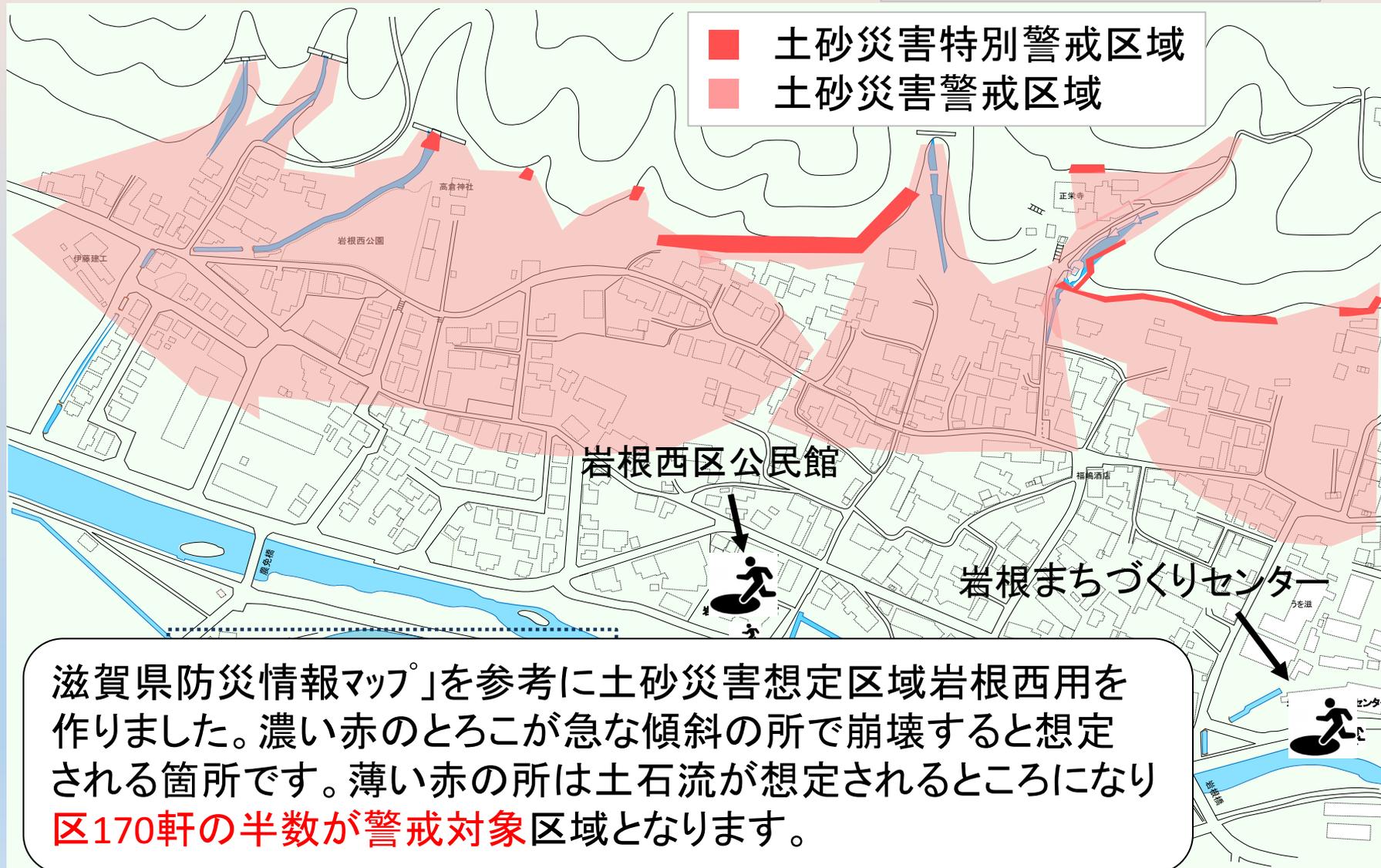
12:00





## 土砂災害\_\_ハザードマップ

滋賀県防災情報マップ参照

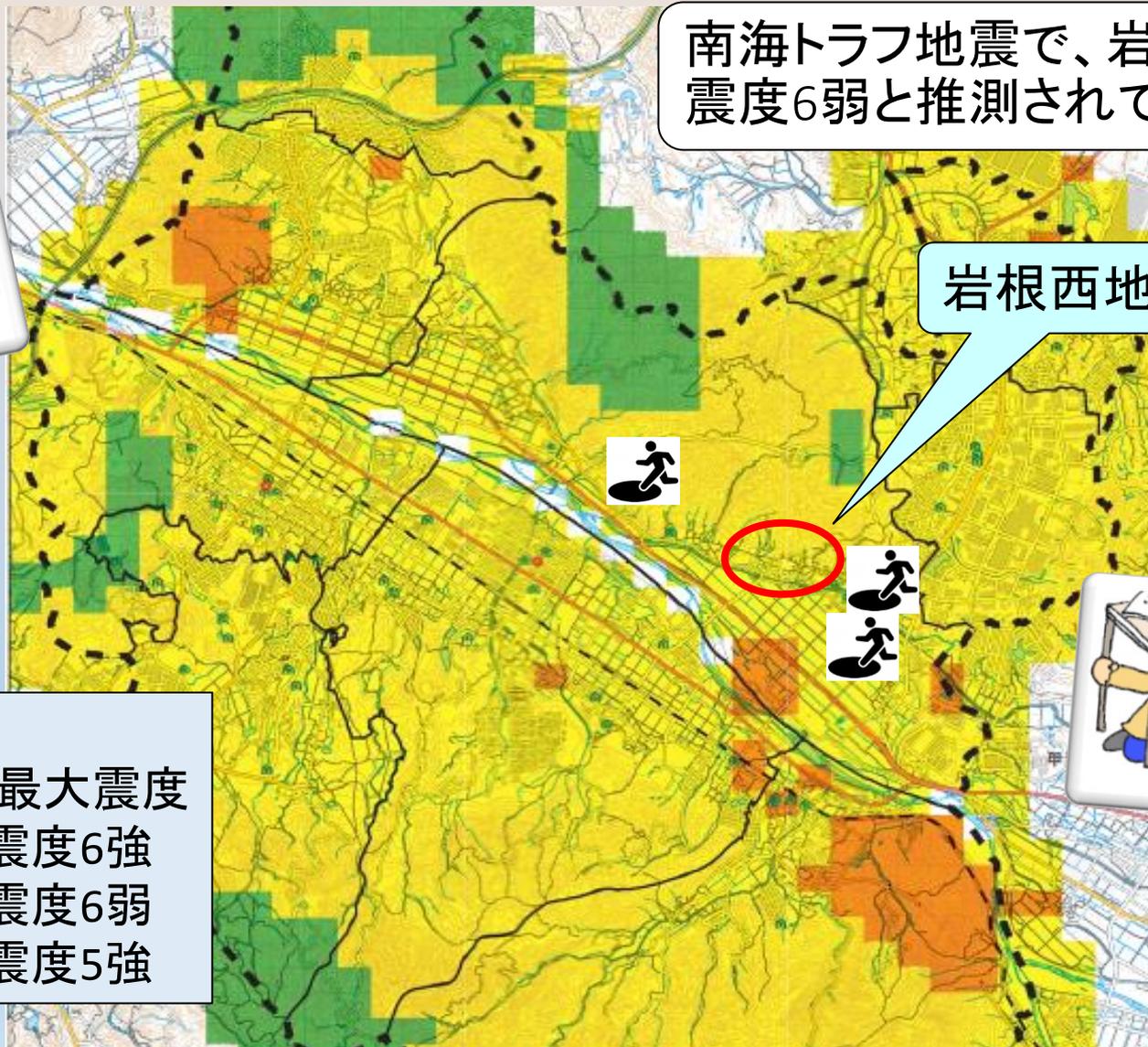




# 地震\_\_ハザードマップ①

滋賀県防災情報マップ参照

南海トラフ地震で、岩根西は震度6弱と推測されている。

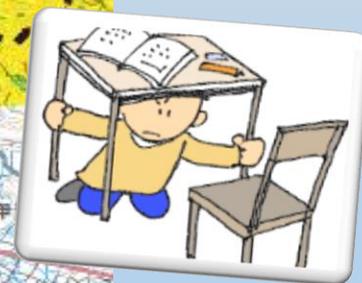


岩根西地区

南海トラフ地震

湖南省 想定最大震度

- 震度6強
- 震度6弱
- 震度5強



# 5-4-2. 岩根西区の特性



## 地震\_\_ハザードマップ②

巨大地震を想定し、区内を歩いて  
弱点を探してみました。

右上、線の色は何かを見てもらえば

- ・青線-ブロック塀
- ・オレンジ-電線、電柱
- ・黒線-滑り落ちる屋根瓦
- ・赤線-道路幅狭く、道に民家が密接しています。

こんなリスクをハザードとしたマップを作成。

- ブロック等の塀
- 電線・電信柱
- 屋根がわら
- 道幅狭く、道に民家密接
- 自販機、看板



# 6-1. 防災(消火栓)訓練 実施事例の紹介



## 消火栓訓練の様子



### 消火栓訓練マニュアル

消火栓を使用する時は必ず4人以上で行う。

---消火栓係(1名)、筒先係(2名)、伝令係(1名)の役割を決める。

※筒先には非常に強い水圧がかかり、振り回されたり、ホースを離してしまって筒先が大暴れがあるので、必ず2名で行う。

#### 1. 消火栓蓋を開ける(消火栓係)。

① 消火栓キー剣先を蓋の隙間に差し込み、てこの要領で持ち上げる。

② 蓋が浮き上がったら、取っ手を持って蓋を開く。

(蓋が持ち上がらない場合はハンマー等で端4辺を軽くたたくと持ち上がりやすい)

①

②



### 消火栓ボックス及び消火栓点検マニュアル

#### 1 外観の点検

(1) 消火栓ボックス本体に大きな破損箇所や著しいサビがないか確認する。

(2) 扉の破損、変形により開閉がしにくいことはないか確認する。

(3) 扉がなくなっている。ちょうつがい(ちょうつがい)が破損していないか確認する。

#### 2 収納物品の点検

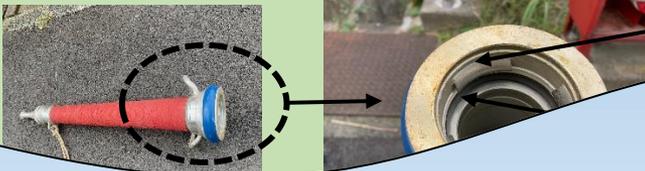
(1) 筒先1本、スタンドパイプ1本、消火栓キー1本、ホース2本

(2) 収納品がすべてあるか確認する。

(3) 筒先について

・筒先のパイプ部分がへこんでいないか(少しへこんでいて

・爪とパッキンの確認をする。



### 消火栓ホース格納箱及び消火栓点検表

(岩根西区)

記入担当者 \_\_\_\_\_

点検年月日 年 月 日

点検項目に不備がなければ○、不備があれば×印を記入



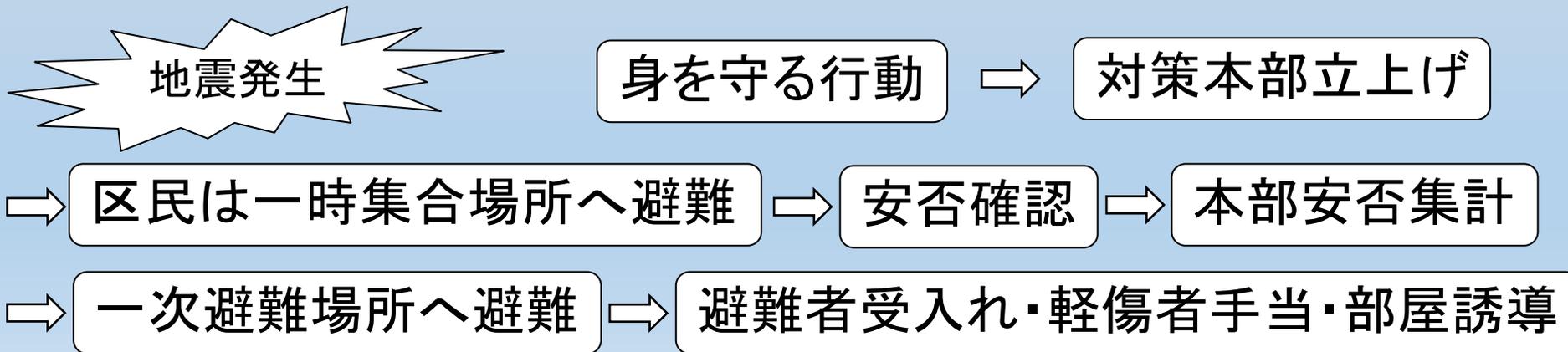
点検項目		消火栓 No.						
		1	2	3	4	5	6	7
外観点検	破損や腐食がない							
	扉の開閉がスムーズにできる							
	扉がある、扉のちょうつがい(ちょうつがい)が壊れていない							
	箱をゆずってもぐらつかない							
	変形していない							

# 6-2. 秋の防災(地震編)訓練 ①実施項目の紹介



## 地震発生時の行動(フロー図)

経過	区民	地震発生時の行動基準 (70-図)		
		組長(防災士が補助)	自主防災 対策本部	消防団・民・日赤・エルダー
大規模地震発生! (震度5弱以上)	身を守る行動			
揺れがおさまったら はしらない	<ul style="list-style-type: none"> <li>ガスの元栓を切る</li> <li>電気のブレーカーを切る</li> <li>家族の安否確認</li> </ul>			
避難開始 (一人で行動しない) (運動靴) (手袋) (非常時持ち出し品)	<ul style="list-style-type: none"> <li>近隣の安否確認</li> <li>負傷者の確認 </li> <li>火災の確認</li> <li>家など倒壊の確認</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>要支援者避難誘導</li> <li>救出・救護</li> <li>一時集合場所へ移動</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>対策本部開設 (区3役) (防災士長) (相談役)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>初期消火 </li> </ul>



# 6-3. 秋の防災訓練 ②避難等の様子の紹介



## 避難



近隣の人が要支援者を見守り、一時集合場所へ避難する様子

## 安否確認



一時集合場所で組長が安否確認をし本部へ報告する様子

## 情報収集・集計



安否情報収集・集計の様子

市職員

地区連絡所

岩根西会計

訓練です！  
岩根西15名  
ここに避難します

## 参加世帯



# 6-4. 秋の防災訓練 ③避難場所開設の様子を紹介



## 一次避難場所(公民館)での訓練

避難者受入れの様子



民生委員

消毒、検温後受付け用紙記入

手のケガ(軽傷)の手当ての様子

エルダー婦人部



日赤奉仕団

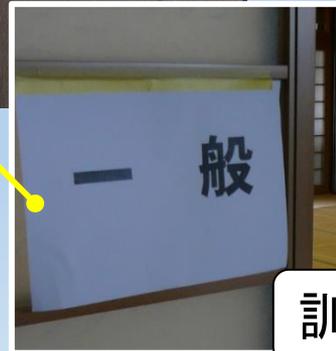


指定の部屋へ誘導し体調も確認

妊産婦  
乳幼児



一般



消防団の参加もいただいた



訓練の様子をパトロール  
訓練の盛り上げにもなった

# 6-5-補足. 一時(いつとき)集合場所



## 7箇所の一時的集合場所、自分はどこに避難するかほぼ周知されている



## 7-1. 高齢者等避難(レベル3)以上\_発令時の行動



この発表のテーマである「**レベル3以上発令**」時にとった**行動**、2021年と2022年。2021年の行動を主に報告します。

**土砂災害警戒区域を再確認する活動**となりました。

- ・2021年5月21日 早朝に、気象庁より大雨警報(土砂災害) 警戒レベル3 相当の情報がでる。
- ・これを機に6月 区3役と 県や市の防災マップを元にし、土砂災害警戒対象世帯のマップを作成しました。

(土砂災害警戒対象世帯)

(岩根西区.土砂災害警戒区域)

(\*\*\* = 世帯名)



危険な世帯を見える化し、「自分の命は自分で守る」ことの備えにつなげる、と同時に 区民に周知を図ることが目的です。

## 7-2. 高齢者等避難(レベル3)以上\_発令時の行動



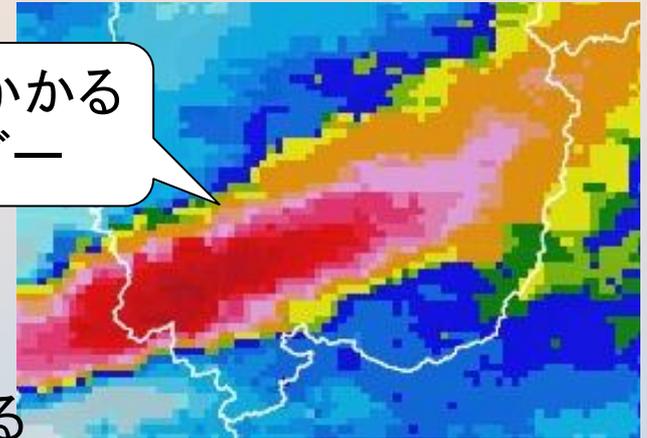
8月13日 18:16

(気象庁発表)

湖南省

- ・大雨洪水警報！
- ・土砂災害警戒情報！  
⇒ 警戒レベル4！

湖南省にかかる  
雨雲レーダー



湖南省にかかる  
雨雲レーダーでは線状降水帯かのような様子でした。  
18時には1時間に50ミリ～80ミリの強い雨が  
特に岩根方面には断続的に発生しました。



18時 区内を流れる岩根西川が氾濫し、道路も冠水しました。住宅に入らないように区役員と近隣住民が土のうで対応しました。

# 7-2. 高齢者等避難(レベル3)以上\_発令時の行動



(自治体 湖南省)が  
19:25 警戒レベル4の  
『避難指示発令!』



## 21. 一次避難場所

### (岩根西区 防災計画)

#### ②開設時期

一次避難場所の開設時期は、原則として地震の場合は震度5弱以上、風水害及び土砂高齢者等避難【レベル3】が発令された時点で開設する。

この場合、三役は施設の安全確認を行い、二次災害の恐れがないと判断すれば開設する。

#### (3) 一次避難場所開設時の区民への連絡と役割

##### ①開設の連絡

三役は、一次避難場所を開設すれば組長に開設、組長は組員に一次避難場所開設の連絡を行う。ふるさと防災隊員、日赤奉仕団、エルダー婦人会及び民生委員は一次避難場所開設に伴い出動の要請があればこれに協力するものとする。

##### ②開設時の役割

ふるさと防災隊員

計画に一次避難場所開設時期は高齢者等避難【レベル3】が発令された時点で開設する

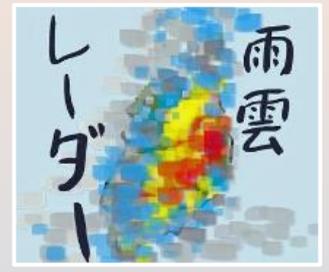
防災計画に従い、発令の5分後、公民館を一次避難場所として開設しました。防災執行部の区3役と私が駆け付けました。

組長を通じ全区民へ開設の連絡。また地区連絡所へも連絡をしました。

# 7-3. 高齢者等避難(レベル3)以上\_発令時の行動



## 8月13日一次避難場所(公民館)開設後の経過



- ・気象情報の収集。
- ・ハザードマップで土砂災害警戒区域の再チェック。
- ・土砂災害警戒対象世帯を区マップにて再チェック。
- ・ // の一人住まい高齢者の把握。

などを行いました。ところでコロナ感染で避けられたのか、危険の意識がまだまだ低いのか、公民館への避難はありませんでしたが、1名は親戚の家へ早めの避難をされていました。

そして8月14日 0:20

- ①避難者なし。
- ②11:20を最後に断続的な強い雨が小康状態になった。
- ③岩根を流れる思川の水位が目に見えて下がってきた。
- ④今後の雨雲レーダーを15時間後まで観察すると強い雨雲がない。



以上を根拠に、区長判断にて4人は自宅待機とし、公民館を閉鎖しました。

# 7-4. 高齢者等避難(レベル3)以上発令時の行動



## 今後の目標

避難の四つ

- ①避難所へ避難。
- ②安全な親戚や知人宅へ避難。
- ③安全なホテルや旅館へ避難。
- ④避難が危険なときは自宅の2階以上で山と反対側へ避難。



\* 危険な場所から避難する行動を、区民にアナウンスしたいと思います。

・8月21日には区長が組長を通じ、今後も警報・警戒情報に注意し、早めの避難準備をするよう文章にて区民に伝達しました。

・また9月4日には15名の区防災委員に「土砂災害警戒対象世帯マップ」を配布し、周知を図りました。

そしてLINE等使えない組長がいて、避難場所開設の伝達が一斉にまたスムーズに行えなかった。このことも踏まえて、今年も大雨が警戒される5月～10月に向け、土砂災害警戒区域やその世帯の見える化をもっと図るとともに、避難体制の整備を進めたいと思います。

## 8-1.まとめ①



昨年8月4日、最上川氾濫、線状降水帯が発生しました。新潟関川村で161ミリ/h-気象庁観測では過去最高。小さな低いなだらかな山でも土砂崩れが起こることを学びました。

翌5日、長浜高時川氾濫90ミリ/h、石川白山・小松100ミリ。線状降水帯発生です。

そして9日には、新潟関川村.背を越す高さまで浸水、犠牲者なしでした。避難するよう声かけ合ったそうです。日頃意識を高める活動をし備えが必要と気づきました。

2018年の西日本豪雨では死者51人、内42人が避難行動要支援者でした。

昨年9月19日 15:00 湖南省市より高齢者等避難.レベル3が発令されました。この時土砂災害警戒区域の一人暮らしの高齢者5人に声掛けを行いました。自分の身を守り、周囲に避難を促すだけでも防災士として、価値があることだと思っています。

## 8-2.まとめ②



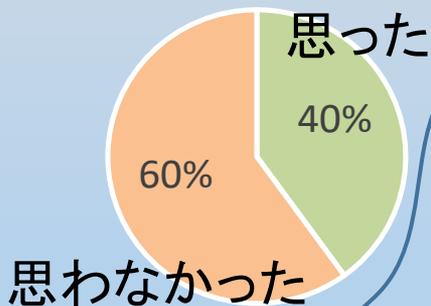
2022年度も地震を想定した訓練を行いました。訓練時の区民の意識はこうだったんです。

「地震発生時とその後の行動」の意識アンケートを行いました。

その一例

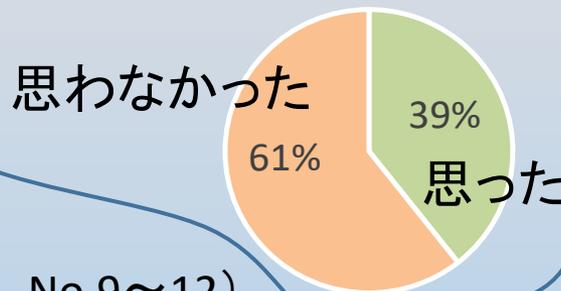
(地震発生時 No.1~3)

1. テーブルの下にもぐるなど落下物から頭を守ろうと思いましたが。



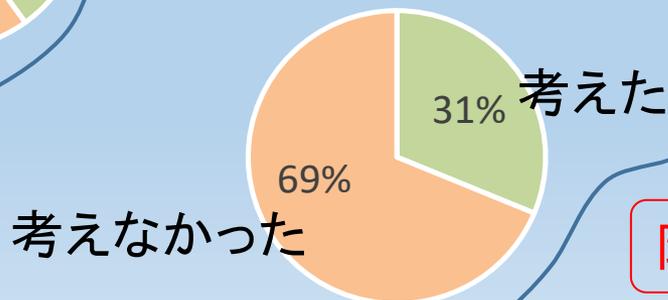
(地震発生後、揺れがおさまった時 No.4~8)

4. ガス元栓を切ろうと思いましたが。



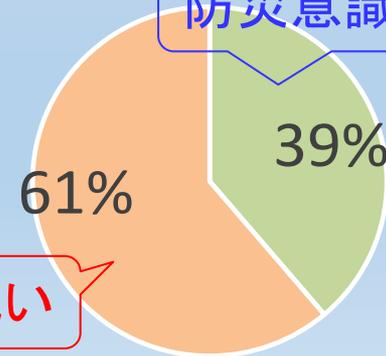
(避難の時 No.9~12)

10. 近所に要配慮者がいるか考えましたか。



アンケート回答者数  
160名  
13項目のまとめ

防災意識がある



防災意識が低い



防災は備えと意識と助け合い



大切なことは防災計画を作成することではなく  
それを区民に周知し、繰り返し訓練すること だと気づきました



終わります



ご清聴ありがとうございました

(岩根西区)